

ニホンナシの収穫期予測

<気温経過と生育>

本年の主要品種の発芽は平年より1日程度早く、4月以降の気温が平年より高く推移したことから、開花始めは平年より3～4日早く、生育が前進した。満開後30日間の平均気温は平年よりも高く推移している(表1左)。

<収穫期の予測>

「幸水」、「豊水」および「南水」の成熟日数はそれぞれ119日、136日および146日となり、本年の収穫始めはそれぞれ8/16、8/29および9/7と予測された(表1右)。なお、この予測日は満開後30日間の平均気温を基にした予測である。収穫適期の判断は、各品種の満開後日数を目安に成熟状況(果皮色、内部品質)を注視して行う。

表1 ニホンナシ主要品種の収穫始期の予測 (南信農業試験場、2024年)

品 種	満開日		満開後30日間の平均気温(°C)		収穫始め				
	本 年	平 年	本 年	平 年	本 年 (予測)	平 年	平年差	昨年実測	昨年差
幸 水	4/19	4/23	16.1	13.6	8/16	8/23	- 7	8/14	+ 2
豊 水	4/15	4/20	15.9	12.7	8/29	9/7	- 9	8/28	+ 1
南 水	4/14	4/18	15.9	12.4	9/7	9/17	- 10	9/7	+ 0

予測値は満開後30日間(満開日含む)の平均気温(南信農業試験場内)から算出した(-は早い、+は遅い)。
平年値は平成13年～令和2年(2001～2020年)までの20年間の平均値。
この予測は2023年5月11日現在の予測であり、今後の気象の推移により変動する。

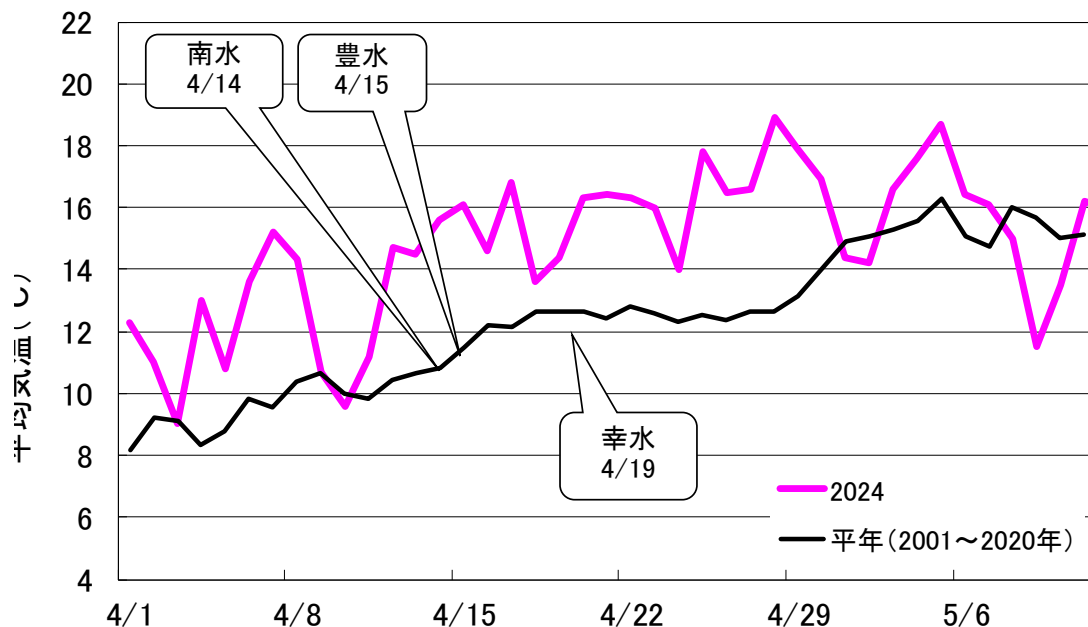


図1 主要品種の満開日開花～幼果期の平均気温の推移(南信農業試験場、2024年)